

国土交通省近畿地方整備局  
猪名川工事事務所長 様

池田市長 倉田 薫

淀川水系河川整備計画にむけての説明資料（第1稿）に対する  
意見募集について

厳冬の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は池田市行政について格段のご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去る平成15年1月9日に、淀川水系流域委員会提言（案）及び淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第1稿）について猪名川工事事務所より、内容説明を受けたところであります。つきましては、下記の事項について、整備計画に盛り込まれるよう要望します。

記

1. 猪名川については昭和57年3月に策定された「流域整備計画」に基づき今後も改修計画を実施されたい。
2. 河川敷利用は、池田市にあっては唯一開放された空間であり、現在の占用施設の存続と、高水敷を利用した河川公園の整備を図られたい。
3. 近年異常気象による集中豪雨が各地で多くなっており、池田市においても河川、下水道計画に基づき、雨水整備を推進し排水能力の強化を図っておりハザードマップの作成の準備も進めております。今後、河川に囲まれた内水域においても整備基準を上回る豪雨に対し、状況が把握できるよう降雨別浸水マップなどの情報提供またインターネット等による洪水情報の提供を要望します。
4. 猪名川は、上水道の水源として、また農業用水として幅広く利用され、かつ永年にわたり市民の憩いの場として親しまれております。しかし、近年河川流量の減少により、魚の固体数減少や小型化の現象が見受けられます。今後は河川維持流量の確保に配慮していただくよう要望します。
5. 猪名川は、近年渇水が頻発して流域住民は安定した生活に不安を生じております。一方、気象情報システムの更なる進展も見込まれ、早急に一庫ダム等のダム管理規則の弾力的運用を促進されたい。